

令和4年度 氷見市教育委員会の事務の点検及び評価

調査報告書

令和5年12月  
氷見市教育委員会

## I 令和4年度点検及び評価実施方針

### 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、氷見市教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を実施する。

### 2 点検・評価の対象

第3期氷見市教育振興基本計画の施策に基づき、令和4年度に実施した事業について点検・評価を行う。

### 3 点検・評価の方法

#### (1) 自己点検評価

対象の事業について、教育委員会が点検・評価を行う。（別紙 体系図参照）

#### (2) 学識経験者の知見の活用

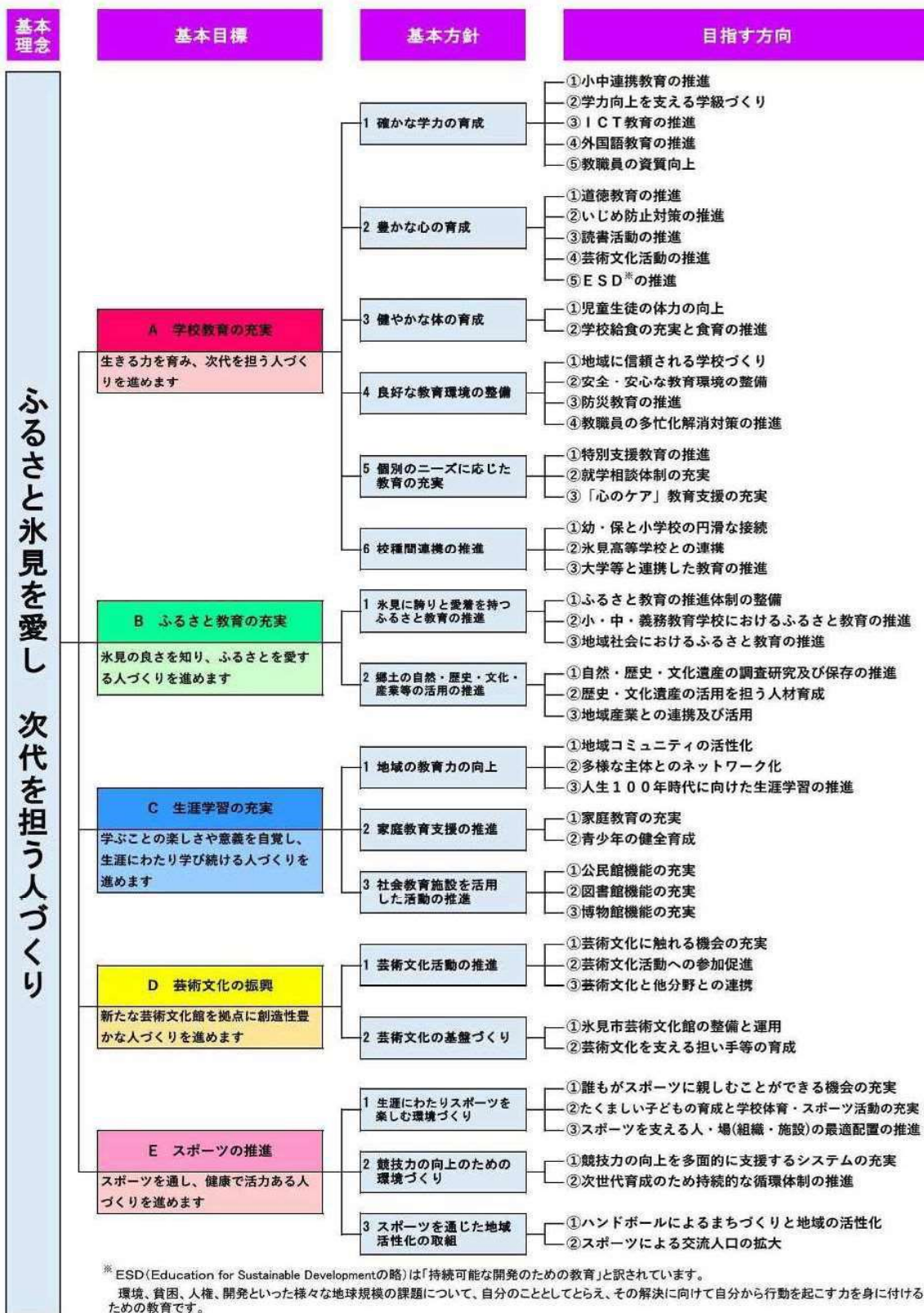
氷見市の教育に関し、氷見市教育振興委員会委員から教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴取する。、  
学識経験者 (敬称略)

辻井 満雄	富山国際大学子ども育成学部 教授 (前学部長)
高木 陽子	氷見市社会教育委員会 議長
西川 扇博	氷見市芸術文化団体協議会 会長
光安 淳子	氷見市中学校長会 会長
笠島 一之	氷見市小中学校PTA連合会 会長

## II 点検及び評価の結果

別紙「令和4年度事業の点検・評価シート」のとおり

## 第3期氷見市教育振興基本計画 体系図



令和4年度

事務の点検・評価シート

氷見市教育委員会

# 令和4年度 事業の点検・評価シート

数値目標表中の「－」は、調査項目が無くなった、または、事業が実施されなかったもの。

## 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 1 確かな学力の育成

### ① 小中連携教育の推進 (教育総合センター)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>義務教育「9年間の学びをつなぐ、支援をつなぐ」をキーワードに、地域の特色を生かした学習活動を系統的・教科等横断的に、かつ継続的に行うとともに、小中共通の「学習上の規律」「生活上の規律」の作成・見直しを図りながら、歩調を合わせて生徒指導を行う小中連携教育の充実を図った。</p> <p>○中学校区で年間計画を作成し、組織的、計画的な実践を推進する。(交流、乗り入れ授業、授業参観等)</p> <p>○CRT、NRT、Q-Uを実施し、その結果を基に適切な指導・支援の目標を設定して、個別指導や学級づくり等に生かす。</p> <p>○内容の追加や写真・データの差し替え、解説文の導入等、HP「ふるさと氷見」の更新を行う。</p> <p>○各中学校区の年間計画を共有するとともに、小中連携の先進的な事例を収集し、各学校の実践に役立てる。</p> <p>○校区で諸問題について共通理解したり、共に研修したりすることで、連携して課題を解決しようとする意識を高める。</p>	<p>○各中学校区ごとに、定期的に推進委員会・連絡会議等を開催し、課題を共有して話し合ったり、児童生徒の様子や変容について情報交換したりすることで、小学校と中学校が連携・協働した「学びのつながり」「支援のつながり」を推進することができている。また、校区ごとに、その実情や特色を生かしながら、各種交流会や活動を実施することで、着実に小中連携が定着してきた。</p> <p>○コロナ禍の影響も少なからずあると思われるが、指標数値については、特に小学校の値が低い。今後は、小学校と中学校が学習指導と生徒指導において、それぞれのよさや課題を理解し合い、学校が直面している課題を連携して解決していくことが、より一層重要である。そのためにも、児童生徒が確かな学力・豊かな心を身に付ける活動となっているか、中1ギャップを改善するような取組であるか、過度に教員の負担となっていないかなどを話し合う場や機会を充実させるとともに、中学校区間の情報交換等も行いながら、小中連携教育を一層推進していきたい。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)	
			前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか【全国学力・学習状況調査:学校質問紙より】(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と答えた学校の割合)	小学校	80.0%	50.0%		
			中学校	60.0%	80.0%			100%
前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか【全国学力・学習状況調査:学校質問紙より】(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と答えた学校の割合)	小学校	80.0%	50.0%				100%	
	中学校	80.0%	60.0%				100%	

### ② 学力向上を支える学級づくり (教育総合センター)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>「令和のとやま型教育推進事業」の趣旨を踏まえ、学習指導要領における児童生徒の「資質・能力」を育成する学習指導や学級づくりを目指し、教員の研修会の開催や中学校区で指定した研究校における実践的な研究を通して、市内小・中・義務教育学校に成果を広げた。</p> <p>○学力調査やQ-Uを活用した授業改善及び学級づくりの推進</p> <p>○「令和のとやま型教育推進事業」研究校の実践研究における成果の普及</p> <p>○学力向上に係る研修会の実施と教員の指導力向上への支援</p>	<p>○学力調査等の結果を分析し、授業改善に役立つ情報を提供するとともに、教員の指導力向上を目指す研修会を開催した。</p> <p>○「令和のとやま型教育推進事業」における研究校として、西條中学校区の小学校2校、中学校1校を指定し、授業研究や講師を招聘した研修会を通して実践研究を行った。</p> <p>○各研究校の課題に応じて取り組んだ研究成果を啓発資料としてまとめ、配布を通じて市内小・中・義務教育学校へ普及を図った。</p> <p>○今後も研究校と連携し、課題解決型の授業づくりや、学び合う学級づくりを推し進めるなど、授業改善を図ることで、自分の考えをもち、意欲的に学ぼうとする児童生徒が増えるようにする。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)	
			学校へ行くのは楽しいと思いますか【全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙より】(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた児童生徒の割合)	小学校	82.3%	85.0%		
			中学校	80.3%	81.8%			90%以上
課題の解決に向けて、自ら考え、自分から取り組んでいましたか【全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙より】(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童生徒の割合)	小学校	76.4%	79.9%				90%以上	
	中学校	76.2%	69.9%				90%以上	

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 1 確かな学力の育成

#### ③ ICT教育の推進 (教育総合センター)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
教員のICT活用指導力の向上、活用しやすい環境の整備に向け、教員のニーズに応じた研修会を開催したり、ホームページを活用して活用事例を紹介したりした。 ○研修会の開催 ・ICTを活用した授業づくり研修会(西の杜学園、湖南小、十三中) ・電子黒板・プログラミング教材活用研修会 ・eライブラリアドバンス活用研修会(オンラインで実施) ○ICT活用推進研修(各校にて) ○活用事例収集・ホームページ掲載	○ICT活用校内研修の推進、各種研修会の実施により、電子黒板の活用は日常となり、タブレットPCの使用時間は増えている。 ○ICTを活用した授業づくり研修会や活用事例収集を通して、授業での活用事例等の共有ができた。 ○学校教育活動の様々な場面でのICT活用が進んできた。今後、学校全体でICTの効果的な活用に向けての研修の工夫が必要である。

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	教職員と児童生徒がやりとりするようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組を行った学校【全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙より】〈「よく活用している」「どちらかといえば、活用している」と答えた学校の割合〉	小学校	70.0%				100%
		中学校	60.0%				100%
	児童生徒同士がやりとりするようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組を行った学校【全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙より】〈「よく活用している」「どちらかといえば、活用している」と答えた学校の割合〉	小学校	40.0%				100%
		中学校	40.0%				100%
	教職員と調査対象学年の児童生徒がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT器機をどの程度使用させていますか【全国学力・学習状況調査:学校質問紙より】〈「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」「月1回以上」と答えた学校の割合〉	小学校		60.0%			100%
		中学校		100.0%			100%
	調査対象学年の児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT器機をどの程度使用させていますか【全国学力・学習状況調査:学校質問紙より】〈「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」「月1回以上」と答えた学校の割合〉	小学校		60.0%			100%
		中学校		100.0%			100%

※全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙の設問の変更により内容(指標)を変更した。

#### ④ 外国語教育の推進 (教育総合センター)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
「外国語教育ひみプラン」の理念に基づき、外国語を用いて、ふるさと氷見のよさを発信できる児童生徒を育成するための外国語教育の充実を図った。 ○ふるさと教材「We Love HIMI!」二訂の活用 ○「ENGLISHセミナー2022」の開催 ○ALTの適切な学校配置と効果的な活用(ALT7名を市内小・中・義務教育学校に配置)	○ふるさと教材「We Love HIMI!」二訂の活用の推進とともに、「ENGLISHセミナー2022」の開催を通じて、ふるさと氷見のよさを見付け、写真や絵等の資料を提示したり表現方法を工夫したりして、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童生徒を育成した。 ○学校へのALTの派遣に努め、外国語の授業の充実を図った。今後においてもALTの適切な配置・活用、ふるさと教材の効果的な活用の推進について、各学校と連携しながら進めていく。 ○数値目標となる指標(全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙の回答)については、令和4年度に実施されなかった。

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができているか【全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙より】〈「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた児童の割合〉	小学校	74.4%	—			80%
		中学校	62.9%	—			70%
	1・2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができているか【全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙より】〈「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた生徒の割合〉	小学校					
		中学校					

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 1 確かな学力の育成

#### ⑤教職員の資質向上 (教育総合センター)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>今日的な教育課題への対応力を身に付け、主体的に学び続ける教員を育成するため、教員研修の充実を図った。</p> <p>○教員の指導力と資質向上を目指した研修会の開催</p> <p>・「令和のとやま型教育推進事業」による研修会、学力向上研修会、教育セミナー、ICTを活用した授業づくり研修会、生徒指導研修会、若手教員研修会等を行った。</p>	<p>○今日的な教育課題に対応した内容や教員のニーズに応じた研修会を企画、運営することにより、教員の資質向上につなげることができた。</p> <p>○若手教員が増加しており、様々な教育課題に対応する実践力や指導力を向上させるための研修会を充実させる必要がある。</p> <p>○令和4年7月から施行された教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律に基づき、研修に関する記録の作成並びに資質向上に関する指導助言等の仕組みが制度化されたことに加え、令和5年10月には、「富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標」の改訂について提示された。その内容と結び付けながら、研修会を企画、運営する必要がある。</p>

数値目標	内容(指標)		実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
			70.0%	40.0%				90%以上
	教員は、校内外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)【全国学力・学習状況調査:学校質問紙より】〈「よくしている」と答えた学校の割合〉	小学校	70.0%	40.0%				90%以上
		中学校	80.0%	60.0%				90%以上
	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか【全国学力・学習状況調査:学校質問紙より】〈「よくしている」と答えた学校の割合〉	小学校	60.0%	—				90%以上
		中学校	60.0%	—				90%以上

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 2 豊かな心の育成

#### ①道徳教育の推進 (教育総合センター)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>子供たちの豊かな心を育成するため、専門分野の講師を招き、研修会を開催した。</p> <p>○「生徒指導研修会」(児童生徒理解に関する研修)</p> <p>○「若手教員研修会」(授業づくりに関する研修)</p>	<p>○生徒指導研修会では、生徒指導の観点から児童生徒理解を深めることができた。</p> <p>○授業づくり、学級経営についての研修会を開催することにより、授業を通して児童生徒理解を深めたり、児童生徒との関わりを学級経営に生かしたりする方策等について学ぶことができた。</p> <p>○道徳教育の推進に向けて、児童生徒理解や授業づくりに関する研修を充実させ、今後は、子供たちが自己を見つめ自己の生き方についての考えを深める「考え、議論する道徳」の実践や、地域社会と連携・協力した道徳教育の推進に努めていく。</p>

数値目標	内容(指標)		実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
			84.4%	81.9%				90%以上
	自分にはよいところがあると思いますか【全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙より】〈「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合〉	小学校	84.4%	81.9%				90%以上
		中学校	71.3%	78.8%				90%以上
	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか【全国学力・学習状況調査:学校質問紙より】〈「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合〉	小学校	76.4%	75.6%				90%以上
		中学校	74.8%	71.5%				90%以上

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 2 豊かな心の育成

#### ②いじめ防止対策の推進（教育総合センター）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>市全体でいじめの未然防止等の対策を実効的に行うために、「いじめ問題対策連絡協議会」「いじめ問題専門家委員会」等を定期的に開催した。</p> <p>○いじめ問題対策連絡協議会の開催（年間2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題について話し合い、関係機関での情報共有・連携強化を図った。</li> <li>○いじめ問題専門家委員会の設置（定例会議を年間2回）</li> <li>・専門的な見地から本市のいじめ問題の現状についての分析や対策の検討を行った。</li> <li>○氷見市いじめ調査の実施（各学期末に実施）</li> </ul>	<p>○関係機関での情報共有・連携強化により、いじめ問題の未然防止や早期発見、チームによる指導・支援に向けての意識向上につながった。</p> <p>○本市のいじめの現状について専門的な見地から助言を得ることができ、いじめ問題への対策やチームで対応する体制づくり等について理解が深まった。</p> <p>○いじめ問題対策連絡協議会の開催等により、関係機関との情報共有等を更に進める。今後も、「いじめ問題専門家委員会」等、専門的な見地から助言をいただきながら、様々な目で、きめ細かな児童生徒の見守りを進め、いじめの未然防止・早期発見に努める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか【全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙より】(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童生徒の割合)	小学校	96.7%	97.3%			
	中学校	95.8%	97.4%				100%

#### ③読書活動の推進（学校教育課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○学校図書館司書の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校、義務教育学校の全校に司書を派遣した。</li> <li>・図書館司書を対象に、図書館運営の充実を図る研修会を開催した。</li> </ul> <p>○小・中学校図書館図書購入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の図書館図書の充実を図るため、学校の規模や学級数に応じた購入費を配分し計画的な図書の購入を行った。</li> </ul>	<p>○図書の整理や廃棄を行い、児童生徒が興味を持つ図書を新たに購入するなど、ニーズに合った図書の充実を図っていく。</p> <p>○1/2成人式（小4）での図書館利用者カードの交付等、啓発の取組みを実施する。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	1日当たり、どれくらいの時間読書をしますか【全国学力・学習状況調査:児童生徒質問紙より】(「30分以上」と答えた児童生徒の割合)	小学校	40.8%	36.5%			
	中学校	28.7%	25.1%				50%

#### ④芸術文化活動の推進（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○文化庁と市教育委員会が共催する巡回公演を朝日丘小で実施した（児童劇「ピン・ボン」：学校申込）。</p> <p>○小学校・義務教育学校5・6年生を対象に優れた芸術鑑賞機会を提供するため、小学校合同芸術鑑賞会を実施した。（11月、芸術文化館、舞台劇：銀河鉄道の夜）</p> <p>○芸術家を学校等に派遣し参加型のコンサートを行うアウトリーチ活動を小7校、中2校、義務教育学校前期後期各1回、福祉施設2施設で実施した（計延べ15回）。</p>	<p>○各学校が文化庁主催の巡回公演等や市が実施するアウトリーチ事業を活用し、芸術文化に触れる機会を創出することができた。</p> <p>○今後も、引き続き子どもの芸術鑑賞・体験機会に努める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	小・中・義務教育学校における芸術文化鑑賞会の開催(年に1回以上開催している学校の割合)	小学校	70.0%	80.0%			
	中学校	60.0%	80.0%				90%



## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 2 豊かな心の育成

#### ⑤ ESDの推進（教育総合センター）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>夢や希望をもって、たくましく生きる力を身に付けることができるよう、次のような事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会に学ぶ「14歳の挑戦」推進事業</li> <li>○「ひみっ子の夢と希望」きらめき推進事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・義務教育学校6年生 11月15日(火) サクソフォン奏者 須川展也 氏 他による音楽会</li> <li>・中学校2年生・義務教育学校8年生 11月28日(月) 音楽家 CHIKO氏 による講演会</li> </ul> </li> </ul> <p>会場：小・中共に氷見芸術文化館</p>	<p>○社会に学ぶ「14歳の挑戦」は、コロナ禍であったが、様々な事業所に協力していただき、幅広い体験の場を設定して実施することができた。</p> <p>○「ひみっ子の夢と希望」きらめき推進事業は、小学校・義務教育学校は6年生を対象に音楽会を、中学校は、2年生・義務教育学校8年生を対象に、地元出身の著名人の講演を通して、未来に向かって自らを向上させようという心情を育むことができた。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
			地域や学校をよくするために何をすべきかを考えることがありますか【全国学力・学習状況調査：児童生徒質問紙より】〈「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合〉	小学校	56.8%	—	
	中学校	52.9%	—				65%
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか【全国学力・学習状況調査：児童生徒質問紙より】〈「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合〉		51.5%				65%
			48.7%				65%

※全国学力・学習状況調査：児童生徒質問紙の設問の変更により内容(指標)を変更した。

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 3 健やかな体の育成

#### ① 児童生徒の体力の向上（学校教育課・スポーツ振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内各小学校において体力づくりノート「みんなでチャレンジ3015」を実施</li> <li>○市内の保育園、認定こども園で幼児対象の運動指導教室「出前体育屋」を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>※保育士・保育教諭も指導に参加し、補助の仕方や声掛け等を学び指導者の育成を行った。</li> </ul> </li> <li>○日本体育大学との連携による、保育士、保育教諭、小学校教諭(低学年)等を対象に、「子どもの運動指研修会」を実施</li> <li>○総合型地域スポーツクラブ「ふれんず」における、児童生徒を対象とした各種教室の実施</li> <li>○スポーツ少年団における各競技交流大会の実施</li> <li>○中学校運動部活動について、将来にわたりスポーツ活動ができる環境づくりについて検討</li> </ul>	<p>○体力・運動能力調査の結果、女子については概ね県平均を上回ったが、男子については厳しい結果となった。特に、小5男子については県平均で3.6ポイント、全国平均で7.5ポイントも低い状態である。また、本市の児童生徒は握力や50m走などの瞬発系が弱い傾向にある。さらに、運動好きな児童生徒の割合が女子では目標値に達しなかったことは、生涯スポーツ推進するうえで、マイナス要因となる。</p> <p>○まずは、幼少期に遊びながら身体の動かし方を学び、運動やスポーツの楽しさ、喜びを経験し、小・中・高校、そして生涯にわたりスポーツを親しむ環境をつくる必要がある。</p> <p>○子どもたちが個々に楽しみながら適した運動やスポーツができる環境を構築していきたいと考えている。</p> <p>○中学生が将来にわたりスポーツ活動ができる環境づくりを進める必要がある。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和元年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
			体力・運動能力の総合評価実技調査T得点【全国体力・運動能力・運動習慣等調査より】〈小5中2男女県平均との差〉	小5男子	-0.4	-3.6	
	小5女子	+1.2	+0.6				
	中2男子	+1.3	+0.9				
	中2女子	+4.9	+4.2				
	「運動が好き」と回答した児童生徒の割合【全国体力・運動能力・運動習慣等調査より】〈「好き」「やや好き」と答えた児童生徒の割合〉		89.9%	93.8%			90%以上
			85.0%	75.9%			90%以上
			89.2%	90.4%			90%以上
			78.9%	71.3%			90%以上

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 3 健やかな体の育成

#### ② 学校給食の充実と食育の推進(学校教育課)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○毎月、栄養教諭が作成した給食だよりを児童・生徒の保護者へ配付し、食事の大切さや食事のバランスの重要性について伝えた。</p> <p>○給食の時間や授業の中で、栄養教諭が食について指導を繰り返し行った。</p> <p>○地消の推進については、関係部署と連携し、地元食材を多く給食に取り入れることが出来た。毎月13日の「ひみの日」や11月の「学校給食とやまの日」にて、地元食材を活用した給食を提供している。</p>	<p>○小・中学校共に令和2年度より実績値は上昇した。特に、氷見産食材の利用割合は、令和2年度の約2倍になり関係者の努力が成果になった。</p> <p>○引き続き、食事(朝食)をバランスよく食べることの重要性を継続して伝えていくとともに、PTAと一層連携し、保護者への意識の浸透を図っていく。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	数値目標	朝ごはんは3色バランスよく食べている児童生徒の割合	44.4%	46.5%			
赤・・・体の血や肉をつくる食品(魚・肉・大豆製品・乳製品)		51.4%	52.9%				60%
黄・・・体を動かす力になる食品(穀類・いも類・砂糖・油)		11.6%	20.9%				40%
緑・・・体の調子をととのえる食品(緑黄色野菜・その他の野菜・果物)		11.6%	20.9%				40%
	給食における氷見産食材(野菜)の利用割合						

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 4 良好な教育環境の整備

#### ① 地域に信頼される学校づくり (学校教育課、教育総合センター)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○開かれた学校、地域に信頼される学校を目指した取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者による学校評価を実施した。 (学校評議員を委嘱し、点検・評価を行うことによって、学校経営改善を図る)</li> <li>・学校公開日、学習参観日を設定し、学校の様子を保護者や地域の方々に公開した。</li> <li>・地域人材の活用を図り、地域に根ざした教育活動に取り組んだ。</li> <li>・学校のHPを充実させ、学校での教育活動を広く発信した。</li> </ul>	<p>○学校の様子を保護者や地域の方に公開し、評価を得ることにより、様々な視点から見直しを図ることができ、学校経営の改善につながっている。</p> <p>○感染症対策等により、地域人材の活用を積極的に進めることが難しい行事も多かったが、今後も可能な限り地域に根ざした教育活動に取り組み、信頼される開かれた学校づくりに努めたい。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	数値目標	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている【全国学力・学習状況調査・学校質問紙より】(「よくしている」と答えた学校の割合)	40.0%	30.0%			
60.0%			20.0%				100%
指導計画の作成に当たり、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている学校【全国学力・学習状況調査・学校質問紙より】(「よくしている」と答えた学校の割合)		50.0%	50.0%				80%
		40.0%	40.0%				80%

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 4 良好な教育環境の整備

#### ② 安全・安心な教育環境の整備(学校教育課)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
○使用頻度の高い特別教室の空調設備の整備計画を検討した。	○令和6年度から令和9年度にかけて計画的に空調設備を整備する。 対 象：小学校8校（比美乃江小、宮田小、窪小、湖南小、十二町小、上庄小、海峰小、灘浦小） 対象室：通級教室、音楽室、理科室、図書室、図工室、家庭科室、生活科室等

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		小・中・義務教育学校における特別教室のエアコン設置率	27.6%	34.3%			

#### ③ 防災教育の推進(学校教育課)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
○実践的な防災教育の推進 ・各学校では、危機管理マニュアルの見直しや防災訓練の実施により、一層実践的な防災指導計画となるように努めた。 ○市防災担当や関係機関との連携 ・実際の災害時（洪水・豪雪）に迅速な対応、適切な指導ができるように関係機関との連絡・調整を図った。	○各学校における、危機管理マニュアル及び防災指導計画の見直し及び防災訓練の実施については適切に実施できている。 ○学校への不審者進入、登下校における不審者対策、登下校時における地震発生に伴う落下物・倒壊物への対策、さらに洪水や豪雪に伴う対策など、学校だけでは対応できないことも多くあるため、地域や関係機関との連携をさらに充実させる必要がある。

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		前年度の成果と課題を踏まえ、毎年、防災教育推進計画及び防災指導計画について見直しを行う学校の割合	小学校	100.0%	100.0%		
中学校			100.0%	100.0%			100.0%
児童生徒の危険回避能力を向上させる実践的な安全教育を年間指導計画に位置づけて実施する学校の割合		小学校	100.0%	100.0%			100.0%
		中学校	100.0%	100.0%			100.0%

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 4 良好な教育環境の整備

#### ④ 教職員の多忙化解消対策の推進（学校教育課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○教員の勤務実態の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムにより、毎月の出退勤時刻を翌月5日までに報告している。</li> </ul> <p>○超過勤務時間の縮減に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校での業務改善</li> <li>・学校行事の見直しや準備の簡素化、地域行事との合同開催</li> <li>・学習サポーター、スタディメイト、部活動指導員の配置</li> <li>・教員の部活動指導に係る時間を軽減するため、部活動を実施しない日の設定や活動時間の順守を徹底</li> </ul>	<p>○市内学校長会議等を通して、超過勤務時間の縮減に向けて、各学校の取組状況や課題について共通理解を図ることができた。</p> <p>○学校行事の見直し等により、平日の超過勤務時間は一定の減少が見られる。今後も、各学校の取組状況や課題について共通理解を図りながら、超過勤務時間の縮減に向けて取り組んでいく。</p> <p>○部活動の段階的な地域移行を進める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	小学校教員(教諭・臨任講師・養護教諭・栄養教諭・栄養職員)の1月あたりの超過勤務時間を45時間以内とする。	超過時間(平均) 小学校49時間53分 平日48時間20分 休日1時間32分	超過時間(平均) 45時間00分以内				
中学校教員(教諭・臨任講師・養護教諭・栄養教諭・栄養職員)の1月あたりの超過勤務時間を20%程度縮小する。	超過時間(平均) 中学校65時間57分 平日54時間7分 休日11時間50分	超過時間(平均) 52時間00分以内					超過時間(平均) 52時間00分以内

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 5 個別のニーズに応じた教育の充実

#### ① 特別支援教育の推進（学校教育課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○WISC-IV技術講習会はコロナ禍により開催されなかったため、教員の派遣(1名)はできなかった。</p> <p>○特別支援専門員の教育相談のための学校訪問の実施・ケース会議への参加。</p>	<p>○今後WISC-Vへの移行期を迎えるため、講習会が再開されたとしても、教員の講習会受講そのものが難しい可能性がある。情報収集をしっかりと行っていきたい。</p> <p>○心理検査(特性を捉えて指導の参考にするため・学びの場の見直しを考えるため等で実施)の結果報告を臨床心理士と共に学校へ出向いて行っている。保護者面談・学校との懇談を行い、保護者にとっても担任にとっても、子供との向き合い方を考える良い機会になっていると思われるので、継続していきたい。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	WISC-IV技術講習会修了教員の配置数		2人	0人			
特別支援専門員の配置数		1人	1人				1人

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 5 個別のニーズに応じた教育の充実

#### ② 就学相談体制の充実（学校教育課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○地区相談会に言語聴覚士と作業療法士を4回ずつ配置した。臨床心理士は毎回参加している。</p> <p>○医師・臨床心理士との小学校学校訪問（10校）の実施。</p>	<p>○言語聴覚士と作業療法士のいずれかを毎回配置し、発達障害に対する専門性のある臨床心理士が毎回参加していることにより、保護者のニーズや児童生徒の実態に応じた相談ができています。</p> <p>○医師との学校訪問をきっかけに医療との連携ができたケースがある。また、医師との連携が行いやすくなっている。今後も医師・学校との情報共有を継続し指導に役立てていきたい。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		市地区相談会における専門スタッフの配置率	70%	100.0%			
	医師(教育支援委員会委員)の小学校・義務教育学校(前期課程)10校の訪問	0%	100.0%				100%

#### ③ 「心のケア」教育支援の充実（教育総合センター）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>様々な悩みを抱える児童生徒の自立を支援するために次の事業を行った。</p> <p>○教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話相談、来所相談、訪問相談</li> </ul> <p>○適応指導教室（あさひ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒が安心して学ぶことができる居場所づくり（教育相談員4名）</li> </ul> <p>○Q-Uを活用した学級づくりと研修会の開催</p> <p>○SSW等連絡協議会の開催（各機関との連携強化）</p>	<p>○支援が必要な児童生徒や保護者に対して、学校、SCやSSW、関係機関と連携し、支援に当たることができた。教育相談や適応指導教室への通室を通して悩みが軽減され、状況が好転する事例がみられた。</p> <p>○不登校児童生徒の出現率は全国平均以下を維持しているが、全国での出現率が大幅に増加しており、本市でも、小学校での出現率が令和2年度から増加傾向にある。今後は、学校や関係機関との連携を密にし、継続して支援に当たるとともに、研修の充実や相談体制の整備を図り、不登校の未然防止に努めていきたい。</p> <p>○適応指導教室「あさひ」の名称については、文部科学省の通知で示されている通り、不登校児童生徒やその保護者の抵抗感を減らし、親しみやすいものとなるよう、令和5年度より、教育支援センター「あさひ」と変更した。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		不登校児童生徒の出現率	全国平均以下	全国平均以下			

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 6 校種間連携の推進

#### ① 幼・保と小学校の円滑な接続（教育総合センター）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>幼・保・小の円滑な接続を図るため、小学校区ごとに年間計画を作成して支援・協力体制を構築するとともに、教職員の資質向上を目的とする研修会や情報交換、相互訪問、交流活動等を行った。また、「氷見版スタートカリキュラム」を作成し、その活用について周知した。</p> <p>○幼・保・小接続研修会の開催（シンポジウム、学習公開、校区ごとの情報交換等）                      ○保育士によるスタディ・メイト体験、小学校教諭による保育所体験                      ○年長児による小学校生活体験会（学校見学、授業見学、授業体験、給食体験等）                      ○保育所等巡回相談への小学校教員の参加</p>	<p>○コロナ禍のため制限されたが、接続を意識した年間計画に基づいて取り組むことにより、幼・保・小の教職員による情報交換や相互訪問等が実施され、子供たちの様子について情報を共有して継続的な指導を行うことができた。</p> <p>○今年度作成した「氷見版スタートカリキュラム」の普及に努めるとともに、これまでの実績や校区の特色を生かし、交流が日常化するような支援を講じていく必要がある。</p> <p>○若い教員が増えており、幼・保・小接続についての理解を一層深めていく必要がある。研修会の内容を見直すとともに、アンケート項目について氷見市の取組みや実態を分かりやすく説明しながら、氷見市独自の幼・保・小接続を推し進めていく必要がある。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
			あなたのところの「富山版 接続期カリキュラム」における「幼保小接続ステップ」は、どこだと思われますか【幼保小接続研修会参加者(年長及び小学1年生担任)アンケートより】「ステップ3」以上と答えた小学校・義務教育学校・園の割合)	小	70.0%	20.0%	
	園	57.0%	38.5%				80%

#### ② 氷見高等学校との連携（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○インターンシップ等の受入                      ・海洋科学科2年生生徒2名を5日間インターンシップで受入れ、魚類調査の体験実習を行った。また、海洋科学科生徒1・2年生を対象に、イタセンパラ保護池での体験実習を行った。</p> <p>○富山大学理学部教員の文理探究コース（2学年）での指導                      ・6月に理学研究の基礎について講義し、9月の課題研究発表会での助言を行った。ひみラボを拠点とし、河川水からイタセンパラのDNAを抽出するなど、最先端の研究を氷見高生に指導した。</p> <p>○HIMI学における指導助言                      ・海洋科学科の授業や発表に際し、学芸員が氷見高校での指導を行った。</p> <p>○青少年健全育成に関して、非行防止標語の募集や氷見高校生の意見発表など、連携して取り組んだ。</p>	<p>○富山大学理学部教員の派遣やひみラボ水族館へのインターンシップの受入れなど氷見高等学校と連携した取組みを進めた。今後も、同校との連携を継続していく。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
			富山大学教員及び学芸員の氷見高校への派遣回数	6回	6回		

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標A 学校教育の充実 基本方針 6 校種間連携の推進

#### ③ 大学と連携した教育の推進（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○富山大学理学部・氷見市連携研究室「ひみラボ」（旧仏生寺小）に開設する「ひみラボ水族館」の管理をNPO法人Bioクラブに委託し、市内に生息する淡水魚及びミニブタ・リクガメ等の展示を行った。</p> <p>○「ひみラボ」は生物研究の拠点として、全国の大学研究者や生物を専攻する学生等に盛んに活用されており、氷見での研究知見のフィードバックを得ることができただけでなく、研究人脈の広がりにつながっている。</p> <p>○十二町潟のオニバスが発生しない原因について、富山県立大学の教員に依頼して調査を進めた。</p>	<p>○「ひみラボ」は富山大学理学部と連携した研究拠点として、学術的成果を上げている。また、「ひみラボ水族館」は富山大学理学部と連携した施設として、年間1万人を超える親子が訪れる施設となり、子どもたちの自然学習や体験の場としての役割を果たしている。</p> <p>○引き続き富山大学との連携を継続し、市内の子どもたちに学習機会を提供していく。</p>

数 値 目 標	内容(指標)	実績値 (令和元年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		ひみラボ水族館の入館者数	7,174人	10,835人			

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標B ふるさと教育の充実 基本方針 1 氷見に誇りと愛着を持つふるさと教育の推進

#### ①ふるさと教育推進体制の整備（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○文化振興課に本市の歴史や文化についての問合せへの対応や、資料の紹介などを行うための「ふるさと教育相談窓口」を設けた。</p>	<p>○「ふるさと教育相談窓口」の周知を図るとともに、学校・家庭・地域・企業等が一体となって推進する体制づくりに向け、ふるさと教育の現状について関係する部署間で情報共有や意見交換を実施する。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		氷見が好きですか【市民アンケートより】「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた人の割合	83.4%	82.1%			

#### ②小・中・義務教育学校におけるふるさと教育の推進（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○ふるさと氷見に親しむ日（7月14日）の実施 児童生徒に祇園祭の歴史等についての資料を配布し、祇園祭開催当日、市内小中学校等で午後に放課として祭りへの参加を促すことで、ふるさと氷見への愛着を醸成した。</p> <p>○ふるさと発見塾の実施 市内の全中学1年生を対象に、市内の史跡（大境洞窟住居跡・柳田布尾山古墳）や天然記念物（イタセンバラ）を実際に見学し、郷土を知り、郷土を愛する心を育てるとともに、社会科・理科の学習意欲の向上を図るため、実施している。</p> <p>○幕末の剣豪斎藤弥九郎没後150年を記念して、その生涯について学ぶため作成した「マンガ本」を、小学6年生に配布しPRに努めた。</p>	<p>○各学校で工夫しながら「ふるさと教育」に取り組んできた。今後も、様々な機会、教材等を活用しながら、ふるさと氷見に誇りと愛着を持つ児童・生徒の育成に継続的に取り組む。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和3年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		今住んでいる地域の行事に参加していますか。【全国学力・学習状況調査：児童生徒質問紙より】「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えた児童生徒の割合					
	小学校	66.7%	69.3%				80.0%
	中学校	66.4%	66.5%				80.0%



## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標B ふるさと教育の充実 基本方針 1 氷見に誇りと愛着を持つふるさと教育の推進

#### ③ 地域社会におけるふるさと教育の推進（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○「第4回全国万葉故地サミットINひみ」の開催 11月に氷見市芸術文化館において、全国の万葉故地を有する11自治体が会し、万葉に関する取組みについての情報交換や児童による学習発表を行った。</p> <p>○市内地区公民館21館で各種教養講座や体験事業など地域に根差した公民館事業を展開した。</p> <p>○地域コミュニティ活性化事業の実施 地域特色事業として15公民館47事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、13公民館39事業の実施となった。</p>	<p>○地域に対する愛着と帰属意識を育み、自分事として地域の将来について考える人材を育成するために、引き続き、地区公民館におけるふるさとの自然や歴史、暮らし、産業などを学び・親しむ機会の充実に努める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		氷見に住み続けたいと思いますか【市民アンケートより】 〔「当てはまる」〕 〔どちらかといえば当てはまる〕と答えた人の割合	79.4%	77.9%			

### 基本目標B ふるさと教育の充実 基本方針 2 郷土の自然・歴史・文化・産業等の活用の推進

#### ① 自然・歴史・文化遺産の調査研究及び保存の推進（博物館）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○前年度国登録有形文化財（建造物）に登録された「みなとがわ倉庫」「旧蘭製品倉庫」「旧蘭製品作業場」の説明板を「みなとがわ倉庫」に設置した。</p> <p>○栗原A遺跡および上久津呂中屋遺跡の試掘調査、加納横穴群・加納蛭子山古墳群の測量調査を実施した。</p> <p>○令和3年1月に発生した阿尾城跡崖面の崩落について、史跡内の通路の安全確認を目的に現地踏査を実施し、検討委員会で今後の対応策を決定した。</p> <p>○民俗文化財や天然記念物、名勝の保護に努めた。（イタセンバラ、オニバス、虻が島、朝日社叢等）</p> <p>○オニバス発生地で有害生物の駆除調査及び発芽試験を行い、オニバスの再生方法を模索した。</p> <p>○保護池、矢田部川、万尾川などで、イタセンバラの成長・繁殖等のモニタリング調査を実施した。</p>	<p>○市指定文化財の件数は目標値には届かなかったが、懸案となっていた阿尾城跡の崩落部の対応に結論を出すなど、保護・活用についても一定の成果を得ることができた。</p> <p>○今後は、文化財保存活用地域計画策定の準備を進めるとともに、市内文化財の把握に努め、保護・活用を進める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		市指定文化財の件数	51件	51件			
	未市指定文化財の把握	10件	20件				100件

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標B ふるさと教育の充実 基本方針 2 郷土の自然・歴史・文化・産業等の活用の推進

#### ② 歴史・文化遺産の活用を担う人材育成（文化振興課・博物館）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○イタセンパラ守り人の登録を進めた。（令和3年度末現在102名）なお、新型コロナの影響により守り人研修会は実施できなかった。</p> <p>○「イタセンパラ保護と水田の水管理が一体となった暮らし」を観光資源として発信するために、QRコードを使ったモニターツアーを実施した。（実施日：9月10日、参加数：23人）</p> <p>○イタセンパラを含む希少種などの理解を深めるために、富山大学教員と学芸員が連携し、親子イタセンパラ教室を実施した。（実施日：6月19日、9月4日、参加数：親子計23名（親10名、子13名））</p>	<p>○イタセンパラ守り人の登録は微増ながら100名を超えた。コロナ禍の影響により守り人研修会は実施できなかったが、人材育成のために研修会等を引き続き実施していく。また、十二町地区地域づくり協議会が十二町潟水郷公園を活用したイベントをしたいとの話が出ており、イタセンパラ・オニバスを絡めながら、イタセンパラ・オニバスの保護の担い手を増やしていきたい。</p> <p>○イタセンパラ守り人の登録者を増やし、天然記念物保護の協力者を増やしていく。令和5年度には、イタセンパラ守り人を対象とした「氷見イタセンパラアクアーツーリズム」を実施する。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		イタセンパラ守り人の登録者数	78人	117人			

#### ③ 地域産業との連携及び活用（学校教育課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○社会に学ぶ「14歳の挑戦」推進事業</p> <p>働くことの意義や楽しさ、厳しさなどについて、受入先として協力いただいた地域の企業や個人事業主の方々と連携して、生徒たちが社会生活を営む上での規範意識を高める取組を推進した。</p>	<p>○令和4年度も引き続きコロナ禍により受入可能な事業所が減少（コロナ前のH31年度対比25%減の91事業所）となったが、活動を通して、働くことの厳しさや喜びを体験し、学校では得られない充実感と達成感を得ることができた。今後は受入事業所の数や業種を広げ、より地域産業を身近に感じられる取組をする。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		中学校・義務教育学校(後期課程)において地域産業を学習する割合	100%	100%			

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標C 生涯学習の充実 基本方針 1 地域の教育力の向上

#### ① 地域のコミュニティの活性化（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○各公民館では各種教養講座を開催した。また、パークゴルフ大会や早朝健康ウォーキングなどの実施に加え、防犯パトロールの実施や防災意識の啓発な事業に取り組むなど、地域住民のコミュニケーションの活性化や、地域を守るための事業を進めた。</p> <p>○令和4年度末現在、市内13地区で地域づくり協議会が設立され、地域課題解決の活動が始まっている。</p>	<p>○各公民館では地域コミュニティの活性化を図るため各事業を実施し、地域の課題に関する講座の開催等にも取り組んだ。</p> <p>○今後、国で新たに制度化された社会教育士の必要性の周知を図り、資格取得に向けた取り組みを進める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	社会教育士資格取得者数	1人	0人				

#### ② 多様な主体とのネットワーク化（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○各公民館では、様々な主体と連携・協力しながら事業に取り組んだ。特に独立公民館では、各公民館が情報共有、連携強化し、それぞれの事業を積極的に実施した。(例 窪…他地区から講師を招きレクリエーション大会実施。安清連携のミニ門松作り。宇波…七尾市観光ボランティア連携の石動山遺跡遺物巡り。速川…西の杜学園児童と協力した稲作、畑作体験事業の実施など。また多くの地区で地域の各種団体と連携した公民館まつりを実施した。)</p>	<p>○各公民館は社会教育団体や福祉関係団体等他分野の団体とのネットワークの強化に努めた。</p> <p>○今後、社会教育ネットワーク会議開催のため、基盤整備のための計画づくりと研修会を開催し、第3期計画期間中の開催を目指す。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	社会教育ネットワーク会議の開催数 (社会教育関係職員、社会教育委員、社会教育団体、地域づくりNPO等)	0回	0回				

#### ③ 人生100年時代に向けた生涯学習の推進（文化振興課・博物館）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○中央公民館や地区公民館、造形芸術センター、働く婦人の家では、高齢者を含む多くの市民の生涯学習の場として、各種講座やサークル活動が行われた。</p> <p>○博物館では、地域に「届ける生涯学習」として出張回想法に取り組んだが、コロナ禍の影響もあり、3件の実施にとどまった。</p>	<p>○中央公民館をはじめとする公民館や造形芸術センターで開設された各種講座に多くの市民が参加している。また、市内で活動する各種サークルの活動の場を提供することで市民の学習活動を支援した。</p> <p>○令和4年10月には中央公民館が廃止、令和4年度末に働く婦人の家が廃止となり、5年度以降はその役割を芸術文化館が担うことになることから、スムーズな移行に努めるなど、今後も講座の開催やサークル活動への支援を通して学習活動による生きがいの創出に努めたい。</p> <p>○出張回想法については、コロナ禍の影響から高齢者が集う機会が減少し、出張回想法の実施要望も低い状況にあった。今後、高齢者の集う機会の再開に伴い、出張回想法の要望も回復が見込まれる。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	博物館入館・資料利用者数	年間 7,837人	8,679人				
地域回想法を体験した人数	1,186人	284人					1,500人

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標C 生涯学習の充実 基本方針 2 家庭教育支援の推進

#### ① 家庭教育の充実（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○市内全ての小・中学校と、保育園・認定子ども園、子育てサークル等で親学びプログラムを活用した学習会を実施した。</p> <p>○生活習慣の定着を図るために、各校の工夫により「早ね 早おき 朝ごはん」運動に取り組んだ。</p>	<p>○引き続き、PTAや学校と連携し、多様な「親学び」を実践し、家庭教育の充実を図る。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	小・中・義務教育学校での「親学びプログラム」等を用いた講座の実施率	100%	78.6%				

#### ② 青少年の健全育成（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○放課後子ども教室（11教室）、土曜教室（4教室）、中学生未来応援塾（5教室）を開催し、地域住民の指導のもと、延べ564名の児童生徒が放課後や土曜日の学びや体験活動に参加した。</p> <p>○青少年関係団体で構成する青少年育成氷見市民会議や富山県青少年育成県民運動推進指導員、少年補導員と協力して、氷見高校とのさわやか運動を実施した。</p> <p>○少年補導センターでは毎月定期的な巡回指導を行うとともに、学校・PTAと連携し街頭指導に取り組んだ。</p> <p>○青少年育成氷見市民会議と連携し、青少年意見発表大会や、非行防止標語を市内中学校、高校から募集し氷見市 内各所に優秀作品のポスター掲示による普及を図った。</p>	<p>○少年補導員や富山県青少年健全育成推進指導員をはじめとした地域の人材をの協力のもと、青少年の健全育成活動や放課後等の学びや体験活動の実施を推進する。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	ネットトラブルに関わる指導を行いましたか。(氷見市いじめ調査、各校からの回答)	100%	100%				

### 基本目標C 生涯学習の充実 基本方針 3 社会教育施設を活用した活動の推進

#### ① 公民館機能の充実（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○地域コミュニティ活性化事業 地域ごとに特色ある公民館活動を目指し、各公民館から提案のあった特色ある事業を支援した。令和4年度は、15館47事業が計画されたが、2館8事業が開催中止となり、13館39事業となった。</p>	<p>○開催中止となった事業もあるが、公民館ごとに特色のある事業を企画し、住民ニーズに即した事業展開が図られた。</p> <p>○公民館ごとに特色のある事業を企画・実施しており、令和2年度から実施館数、実施事業数ともに増加した。ふるさと教育の一層の推進という観点からも、他公民館の事例を提供するなど全公民館が取り組むよう今後とも働きかけていく。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	地域コミュニティ活性化事業(地域特色事業費分)を実施する公民館の数及び事業数	10公民館 25事業	13公民館 39事業				

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標C 生涯学習の充実 基本方針 3 社会教育施設を活用した活動の推進

#### ② 図書館機能の充実（図書館）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○図書館管理運営事業</p> <p>①蔵書状況            受入冊数：図書6,455冊（うち購入6,190冊）            蔵書冊数：図書268,766冊・視聴覚資料（CD・DVDなど）4,565点</p> <p>②図書館の利用状況            貸出登録者数：3,252人（前年3,252人）            貸出人数：42,544人（前年41,659人）            貸出冊数：163,338冊（前年160,023冊）</p> <p>○移動図書館車管理事業            54箇所、冬期間（1～2月）を除いて通年実施（小学校は8月、1～3月巡回なし）。            延べ巡回数：477回（前年409回） 貸出冊数：23,812冊（前年22,885冊）</p> <p>○電子図書館サービス            ライセンス数：3,149点 購入数：200点 貸出数：1,647点（前年601点）</p> <p>○豊かな読書環境推進事業            小学校、保育園等への巡回貸出 13,450冊（前年13,050冊）</p>	<p>○小学校・保育園等への巡回貸出は、校内や園内の利用だけでなく、園児への個別貸出等にも利用されており、評価を得ているので、今後も続けていく。</p> <p>○移動図書館は、学童施設や高齢者施設だけでなく、公民館からの要望もある。また、郊外に居住し、気軽に来館できない方も多い。このため、今後も継続して実施していく。</p> <p>○電子図書館のライセンス数は増加している。今後も、更なる普及のため、さまざまな方法でPRして、市民の利用促進を図る。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		人口1人当たりの年間貸出冊数	3.4冊	3.7冊			

#### ③ 博物館機能の充実（博物館）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○特別展「大火、氷見町をおそう」—昭和13年、氷見町大火の記録—            令和4年10月14日～11月6日            入館者数 1,283人</p> <p>○特別展「氷見の色」—写真とモノから見る暮らしの色—            令和5年2月24日～3月19日            入館者数 1,116人</p>	<p>○「大火、氷見町をおそう」と「氷見の色」をテーマとした特別展を開催して、地域の文化財を広く公開した。</p> <p>○今後も博物館の研究成果の公開活用のため引き続き年2回の特別展開催に努める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		(再掲)博物館入館・資料利用者数	年間 7,837人	年間 8,978人			
	博物館収蔵資料数	総数 126,374点	総数 127,258点				総数 130,000点

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標D 芸術文化の振興 基本方針 1 芸術文化活動の推進

#### ① 芸術文化に触れる機会の充実（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○芸術文化館のオープニングシリーズとして8公演を実施した。(落語、オペラティックテノール、朗読、舞踊、朗読劇、サクソフォン、バイオリン、ミニチュアライブ展)</p> <p>○10月～2月の期間中、氷見市文化祭を開催した。(秋の山野草展、第32回氷見市菊花大会、氷見川柳大会、謡曲大会、高志俳句大会、短歌大会、男声合唱団ひみ第7回演奏会、第59回氷見市美術協会会員展、第2回全国・県内公募展入賞入選者展、氷見茶道連盟呈茶席、第36回民謡民舞まつり、氷見市吟道大会、第41回合同華道展、第43回氷見市総合芸能大会、第40回新春邦楽大会)</p> <p>○9月～10月の期間中、第60回氷見市美術展覧会を開催した。</p>	<p>○芸術文化館オープニングシリーズで多くの来場者があり、目標値を上回った。</p> <p>○氷見市芸術文化館開館により、令和4年10月以降は芸術文化館を拠点に鑑賞機会を提供している。</p> <p>○芸術文化館の開館初年ということから多くの市民の来場があったが、今後も魅力ある鑑賞機会の提供に努め来場者の維持に努める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和元年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		市や、一般財団法人氷見市文化振興財団が提供した鑑賞機会に参加した人数	5,097人	39,685人			

#### ② 芸術文化活動への参加促進（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○一人ではホールに来ることができない子どもたちや高齢や障害等身体的理由等でホールに来ることができない方のために、学校や高齢者福祉施設、障害者支援施設等へ出向き、文化芸術に触れる機会を提供した。</p> <p>○5月～2月の期間、市内小中学校、地域子育てセンターで、ピアノや箏・尺八コンサート等を19回実施したほか、6月に十二町小学校、ケアハウス万葉の杜で、出前寄席を2回実施した。</p> <p>○文化庁伝統文化親子教室を6団体で開催し、小学生らに伝統文化を継承する活動を通して、指導者と小学生親子が世代間交流を広げた。</p> <p>○氷見第九演奏会事業を通じて氷見第九合唱団151名の市民参加のもと「氷見第九」市民演奏会～歓喜の歌を未来へ～を開催した。</p> <p>○小中高生オリジナル音楽劇ワークショップを19回開催し、小中高生が延133人の参加があった。</p>	<p>○アウトリーチ活動を積極的に取り組んだ結果、目標値を大きく上回る参加者数を達成することができた。</p> <p>○今後もアウトリーチ活動及び小学生から高齢者まで市民の誰もが芸術文化活動に参加できる機会の創出に努める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		アウトリーチ活動参加者数	340人	1,396人			

#### ③ 芸術文化と他分野との連携(文化振興課)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○福祉+アーツ事業</p> <p>4月～1月の期間、放課後デイサービスで、演劇手法の体験や木琴づくりワークショップ等、アウトリーチ形式で延16回実施した。</p>	<p>○アウトリーチ形式で積極的に取り組んだ結果、目標値を上回る参加者数を達成することができた。次年度以降も福祉施設へのアウトリーチ形式での取組みを継続する。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		「福祉+アーツ」事業参加者	99人	216人			

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標D 芸術文化の振興 基本方針 2 芸術文化の基盤づくり

#### ① 氷見市芸術文化館の整備と運用（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○氷見市芸術文化館の竣工・開館 令和2年度に着工した氷見市芸術文化館は令和4年7月末に竣工し、10月8日に開館した。開館当日に記念式典を市制施行70周年記念式典と同時開催した。</p> <p>○氷見市芸術文化館の指定管理 一般財団法人氷見市文化振興財団を指定管理者とし、開館準備業務及び施設の運営を委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール稼働状況：開館139日のうち、利用日104日（稼働率75%）</li> <li>・施設利用状況：利用件数1,274件、利用者数70,046人</li> </ul>	<p>○氷見市芸術文化館のオープンにより整備事業を予定通り完了した。</p> <p>○令和4年度は半年間で7万人の利用者数となったほか、ホール稼働率も75%で当初想定60%を上回った。</p> <p>○開館後も引き続き利用者数を維持するため、指定管理者である氷見市文化振興財団とともに、市民にとって魅力的で質の高い事業の提供と施設の適切な維持管理と運用に努める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		芸術文化館利用者数(イベント、貸館、講座を含むすべての利用者)	—	70,046人			

#### ② 芸術文化を支える担い手等の育成（文化振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○専門人材による芸術文化館の運営 魅力ある芸術文化プログラム(公演など)を企画・招聘することができる総合プロデューサーを氷見市文化振興財団に配置し、芸術文化館の各種事業を企画・実施した。</p> <p>○指導者等の育成 市民の身近なところに芸術文化を届けるために、市内外の団体・グループ12団体とアウトリーチ型のプログラムを準備し、5月～2月の期間、市内小中学校、地域子育てセンターで、ピアノや箏・尺八コンサート等を19回実施した。</p>	<p>○アウトリーチ活動を実施できる個人・団体の掘り起こしを進め、新たなプログラムの創出を図るなど、引き続き芸術文化分野におけるアウトリーチ活動の取組みを進めることで、芸術文化活動を支える人材の確保に努める。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
		「アウトリーチ活動」や「福祉+アーツ」事業を担うことができる団体数	12団体	12団体			

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標E スポーツの推進 基本方針 1 生涯にわたりスポーツを楽しむ環境づくり

#### ① 誰もがスポーツを楽しむ環境づくり（スポーツ振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本体育大学との連携による、保育士、保育教諭、小学校教諭（低学年）等を対象に、「子どもの運動指研修会」を実施</li> <li>○スポーツ実施率の低い女性年齢層（20代～40代）を中心に、美容（B）・スポーツ（S）・食（M）をテーマとした、「HIMI×BSM+」の実施</li> <li>○スポーツ実施率の低い男性年齢層（50代～60代）に向けて、運動をはじめめるきっかけづくりのため、「HIMI×Fes」の新規で実施</li> <li>○総合型地域スポーツクラブ「ふれんず」における、児童生徒を対象とした各種教室の実施</li> <li>○スポーツ少年団における各競技交流大会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○氷見市のスポーツ実施率「成人のスポーツ実施率（週1回以上）の割合については、令和7年度に市民アンケートを実施し把握する予定である。そのため、指標を用いた評価判断はできないが、本市では、一般的に女性より男性が運動やスポーツに親しんでいる割合が少ない傾向にある。</li> <li>○今後は、女性が運動する割合（実施率）を維持しつつ、男性が運動する割合（実施率）を増やすような取組みに積極的に取り組んでいく必要がある。</li> <li>○そして、本市がスポーツで元気で活力あふれ、いつも、どこでも、スポーツをしている街を目指したい。</li> </ul>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	成人のスポーツ実施率(週1回以上)の割合【市民意識調査より】	35.6%	-				

#### ② たくましい子どもの育成と学校体育・スポーツ活動の充実(スポーツ振興課)【再掲】

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内各小学校において体力づくりノート「みんなでチャレンジ3015」を実施</li> <li>○市内の保育園、認定こども園で幼児対象の運動指導教室「出前体育屋」を実施 ※保育士・保育教諭も指導に参加し、補助の仕方や声掛け等を学び指導者の育成を行った。</li> <li>○日本体育大学との連携による、保育士、保育教諭、小学校教諭（低学年）等を対象に、「子どもの運動指研修会」を実施</li> <li>○総合型地域スポーツクラブ「ふれんず」における、児童生徒を対象とした各種教室の実施</li> <li>○スポーツ少年団における各競技交流大会の実施</li> <li>○中学校運動部活動について、将来にわたりスポーツ活動ができる環境づくりについて検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力・運動能力調査の結果、女子については概ね県平均を上回ったが、男子については厳しい結果となった。特に、小5男子については県平均で3.6ポイント、全国平均で7.5ポイントも低い状態である。また、本市の児童生徒は握力や50m走などの瞬発系が弱い傾向にある。さらに、運動好きな児童生徒の割合が女子では目標値に達しなかったことは、生涯スポーツ推進するうえで、マイナス要因となる。</li> <li>○まずは、幼少期に遊びながら身体の動かし方を学び、運動やスポーツの楽しさ、喜びを経験し、小・中・高校、そして生涯にわたりスポーツを親しむ環境をつくる必要がある。</li> <li>○子どもたちが個々に楽しみながら適した運動やスポーツができる環境を構築していきたいと考えている。</li> <li>○中学生が将来にわたりスポーツ活動ができる環境づくりを進める必要がある。</li> </ul>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	(再掲)体力・運動能力の総合評価実技調査T得点【全国体力・運動能力・運動習慣等調査より】(小5中2男女県平均との差)	小5男子	-0.4	-3.6			
小5女子		+1.2	+0.6				
中2男子		+1.3	+0.9				
中2女子		+4.9	+4.2				
(再掲)「運動が好き」と回答した児童生徒の割合【全国体力・運動能力・運動習慣等調査より】(「好き」「やや好き」と答えた児童生徒の割合)	小5男子	89.9%	93.8%				90%以上
	小5女子	85.0%	75.9%				90%以上
	中2男子	89.2%	90.4%				90%以上
	中2女子	78.9%	71.3%				90%以上



## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標E スポーツの推進 基本方針 1 生涯にわたりスポーツを楽しむ環境づくり

#### ③ スポーツを支える人・場(組織・施設)の最適配置の推進 (スポーツ振興課)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○スポーツ推進委員46名が、地域住民のスポーツ活動に対し、指導・助言を行った。また、自らが研修等に参加し、指導者としての資質の向上を図った</p> <p>○日本体育大学との連携により、スポーツ少年団登録の指導者及び保護者を対象に研修会を実施し、子どものスポーツ環境の向上を図った</p> <p>○市内の主幹スポーツ施設である、ふれあいスポーツセンター、市民プール・トレーニングセンター、B&amp;G海洋センターに専門的な知識を有するスポーツ指導員を配置し、スポーツ教室等を開催した</p> <p>○市内の主幹スポーツ施設の維持管理とともに効率的な運営を行うとともに、長寿命化計画に沿って改修や修繕を行い広く市民に快適に利用されるよう努めた。</p> <p>○スポーツボランティアの活用について検討した。</p>	<p>○新型コロナウイルスの影響もあり、ふれあいスポーツセンターを会場とする多くのスポーツイベント及び大会等を入場制限を設けて行ったり、市民がスポーツ活動を控えたため、主幹スポーツ施設の利用人数目標値には達しなかった。</p> <p>○学校開放体育施設の利用人数については、新型コロナウイルスの影響で運動やスポーツ活動を控えるムードが続き目標値に達しなかった。</p> <p>○今後は、市民が快適にスポーツ活動に参加できよう、場所や指導員の確保などの環境づくりに積極的に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>○さらに、市内で開催する大規模なスポーツイベント、大会等に、スポーツボランティアの活用を図っていきたい。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	基幹スポーツ施設の利用者数/年間 (ふれあいスポーツセンター、市民プール・トレーニングセンター、B&G海洋センター及び氷見運動公園)	平成30年度 359,019人	208,155人				
学校開放体育施設の利用者数/年間 (小学校(旧小学校含む)、中学校、義務教育学校)	平成30年度 87,902人	69,457人					88千人

### 基本目標E スポーツの推進 基本方針 2 競技力の向上のための環境づくり

#### ① 競技力の向上を多面的に支援するシステムの充実 (スポーツ振興課)

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○日本体育大学との連携による、保育士、保育教諭、小学校教諭(低学年)等を対象に、「子どもの運動指研修会」を実施(発育段階における運動やスポーツ活動の必要性)</p> <p>○市内の保育園、認定こども園で幼児対象の運動指導教室「出前体育屋」を実施(保育士・保育教諭も指導に参加し、補助の仕方や声掛け等を学び指導者育成も行った)</p> <p>○(公財)氷見市体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブがタイアップし、日本体育大学との連携により、講師を招聘し、公認指導者及び保護者等を対象に研修会を実施(パワハラ、コーチング)</p> <p>○市内各中学校の運動部活動にスポーツエキスパート及び外部指導者を活用し実施</p> <p>○アランマーレ及び富山ドリームによるジュニア育成のためのハンドボール教室を実施</p>	<p>○全国大会出場競技数については、6種目と目標には達しなかった。しかし、この年夏には高岡商業高校が、春には地元氷見高校が30年ぶりに甲子園に出場するなど、氷見市内には大いに沸いた年であった。</p> <p>○今後は、少子化が急速に進む中でも、子どもたちがスポーツ活動が継続していけるような環境を構築していく必要がある。</p> <p>○まずは、幼少期には遊びながら身体の動かし方を学び、運動やスポーツの楽しさ、喜びを経験し、小・中・高校、そして生涯にわたりスポーツを親しむ環境をつくる必要がある。</p> <p>○その中で、トップレベルまで競技を継続できよう環境を構築していく必要がある。(指導者には、個人にあった、技術、トレーニング、コーチング、栄養など理解することが重要)</p>

数値目標	内容(指標)	実績値 (令和元年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	中学生及び高校生の全国大会出場競技数/年間(全中及び高校総体)	8種目	6種目				

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標E スポーツの推進 基本方針 2 競技力の向上のための環境づくり

#### ② 次世代育成のため持続的な循環体制の推進（スポーツ振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○地元男子ハンドボールチーム「富山ドリーム」設立</p> <p>○豊田合成株式会社から地域活性化起業人として吉村晃を派遣していただき、氷見市内への移住定住及び雇用を促進</p> <p>○次世代のトップハンドボーラーを育成するため、ハンドボール教室を年間を通して実施</p> <p>○富山ドリームのプライベートイベントの開催</p>	<p>○令和4年度は、地元男子ハンドボールチーム「富山ドリーム」が発足し、12名の選手で活動をスタートした。選手の中には、日本ハンドボールリーグ経験者の氷見市出身である森康陽選手が加入し、ハンドボールだけでなく、地域の様々なイベントに参加するなど、氷見を盛り上げている。</p> <p>○アランマーレによる小・中学生を対象としたハンドボール教室も開催している。</p> <p>○今後は、様々な競技でトップレベルを経験したアスリートが、本市において指導できる環境を構築していく必要がある。また、プロ野球選手による野球教室やトップランナーによるランニング教室の開催も検討していく必要がある。(子どもたちにとって、憧れのトップ選手と触れ合うことで将来の目標となり、実現できる勇気が湧いてくる)</p>

数値目標	内容(指標)	実績値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(令和8年度)
		<p>トップアスリートのIJUターン者数/年間</p> <p>※トップアスリート(全国大会で優勝やトップリーグを経験した人)</p>	<p>平成29年度 1人</p> <p>平成30年度 1人</p> <p>令和元年度 0人</p> <p>令和2年度 0人</p>	7人			

### 基本目標E スポーツの推進 基本方針 3 スポーツを通じた地域活性化の取組

#### ① ハンドボールによるまちづくりと地域の活性化（スポーツ振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<p>○第18回春の全国中学生ハンドボール選手権大会の開催</p> <p>○ハンギョボール体験会の実施(ゆるスポーツ協会による体験会も実施)</p> <p>○ハンギョボールに関連した商品開発、販売</p> <p>○アランマーレによるアウイ会場での氷見市のPR活動を実施</p> <p>○富山ドリーム選手による地域イベント、行事への積極的な参加</p>	<p>○令和4年度では、新型コロナウイルスの影響により、春中ハンド開催にあたり入場者数を1チーム50人と制限したことで、目標に達しなかった。また、ハンギョボール体験会については、人数は目標数に達していないものの年間6回開催していることは十分に評価できる。</p> <p>○今後は、春中ハンド、ハンギョボールだけでなく、富山ドリームスやアランマーレを積極的に活用し、新たなハンドボールによるまちづくりと地域の活性化を進めていく必要がある。</p>

数値目標	内容(指標)	実績値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(令和8年度)
		春の全国中学生ハンドボール選手権大会の観客数/年間	平成30年 25,725人	10,092人			
	ハンギョボール体験会の参加者数/年間	令和元年 734人	138人				800人以上

## 令和4年度 事業の点検・評価シート

### 基本目標E スポーツの推進 基本方針 3 スポーツを通じた地域活性化の取組

#### ② スポーツによる交流人口の拡大（スポーツ振興課）

令和4年度実施事業(主な取組状況)	点検評価及び今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>○氷見シーサイドマラソン大会、氷見キトキトウォーキングを実施</li> <li>○スポーツ合宿（大学のハンドボール、バドミントンなど）の誘致、実施</li> <li>○日本ハンドボールリーグ「アランマーレ」試合をホームゲームとして開催</li> <li>○富山ドリームスのプライベートゲームの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主要なスポーツイベントの参加者数及びトップスポーツの試合開催数いずれも目標値に達しなかった。その要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により参加人数を制限したりしたためと考えられる。</li> <li>○今後は、各スポーツイベントの周知や申込などが簡単にできるよう関係機関と連携しデジタル化を推進していく必要がある。</li> <li>○スポーツ合宿の誘致については、関連部署や団体、民間と連携し積極的に取り組む必要がある。</li> <li>○トップレベルのスポーツを肌で感じれる「みるスポーツ」に対応したスポーツ施設を整備し、国内及び国際スポーツ大会等を誘致し、市民への周知にも積極的に取組み、スポーツによる交流人口の拡大を図っていく必要がある。</li> </ul>

数値目標	内容(指標)	実績値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (令和8年度)
	主要なスポーツイベントの参加者数/年間 (氷見市民体育大会、氷見シーサイドマラソン大会、氷見キトキトウォーキング)	令和元年 5,312人	3,421人				
トップスポーツ(プロ、実業団等)の試合開催数/年間	令和3年度 3回	2回					3回以上